

はちのへ 市議会だより

令和8年 3 月定例会



今回の表紙
はっち開館 15 周年記念セミナー

TOPIC

予算特別委員会に
対する各会派の意見

令和8年3月定例会において、
副議長の辞任に伴う選挙の結果、
第46代副議長に岡田英氏が就任し
ました。



岡田 英 副議長

3月定例会一般質問のキーワード

連合町内会 戦争遺構 事業量の見通し 整備率
 中干し期間 ケアプランデータ連携システム
 コンプライアンス 2期目の意気込み 医師の勤務管理 水揚げ
 進捗状況 5歳児健診 局地激甚災害の指定 災害
 土壌 津波 馬の確保 経営改善 地震 農業者
 国際大会 八戸魚市場 本八戸駅 教職員 水稲 計画面積
 ノウハウ 支援 町内会 水田 地域資源 米作り
 改築及び修繕 物価高騰 トーチカ JR東日本 借上料 番町ヒルズ
 金利上昇 観戦 再発防止策 まちづくり八戸 公道への下水道整備
 導入率 エレベーター設置 体験型・滞在型観光
 災害復旧事業 介護事業所 町内会の解散回避 避難所
 普及状況 借上料の見直し JR八戸線利用促進協議会

並んでいる単語は、一般質問における単語の出現頻度を可視化したものです。
出現頻度が高い単語は大きく、低い単語ほど小さく表示されています。

新年度予算などに対する各会派の意見

令和8年度予算および関連議案は、予算特別委員会の審査を経て、3月23日の本会議において、いずれも賛成多数で可決されました。

採決に先立ち、各会派の議員が、会派または自己の賛否について意見表明を行いましたので、その要旨を掲載します。



予算特別委員会の様子

自民クラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算では、事務経費や既存事業の徹底した見直しを行い、地域経済活性化や市民サービスの向上などに必要な予算を確保したことを大いに評価する。事業では、後年度の財政負担などへの影響に配慮しながら、市独自の事業に重点的に予算措置していることを高く評価する。今後も未来共創推進戦略2026に掲げた9つの戦略に基づき、市民福祉の向上のため着実に事業を推進することを要望する。

自動車運送事業では、厳しい経営環境のもと乗客の利便性向上と経営の効率化に努めていることを評価する。今後も市民生活に寄り添った輸送サービスを提供し、経営の健全化と公共交通の使命との両立を図ることを期待する。

市民病院事業では、住民の生命と健康の保持のために経営努力していることを評価する。今後も市民のために健全経営を維持し、さらなる発展と効率的な業務運営を期待する。

下水道事業では、青森県東方沖地震で甚大な被害は報告されず、防災・減災への貢献度の高さを実感した。今後も将来にわたり、安定的な下水道サービスの提供を期待する。

きずなクラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算は、過去最大規模となった一方、歳入に大きな伸びは見込めず、当市の財政状況は依然として厳しい状況にある。今後の人口減少社会を見据え、より一層の経営感覚を持った行財政運営が求められる中、子どもファーストの取り組みの拡充や、産業振興・若者定着の施策を評価し、その成果に期待する。意見として、新体育館への小学校低学年までの子どもの遊び場の整備や、こどもの国フリーパス券の料金設定の見直し、さらに、番町ヒルズ借り上げ料の是正や、ブックセンターの家賃負担の問題について再検討を求める。

自動車運送事業は、厳しい経営環境の中、効率的な運行に取り組んで

いる点を評価し、引き続き安定的な運行の確保を要望する。

市民病院事業は、システム改修を含めた業務改善による看護師の労働環境の整備、および医業未収金を発生させない仕組みづくりによる早期対応と予防強化を求める。

下水道事業は、管きよの修繕や施設の長寿命化を図りながら計画的な更新と効率的な維持管理を進め、安定した下水道サービスの提供を望む。

自由民主・無所属クラブ

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算では、義務的経費や物件費の増加など、經常経費の拡大が見込まれる中、社会情勢の変化に伴う行政課題への対応に必要な予算が確保されており、事業の選択では、第7次総合計画および未来共創推進戦略2026に基づき重要課題の解決に向けた取り組みを優先的に計上した点を評価する。

自動車運送事業では、乗り合いバスの購入や行先表示器の更新などが計上され、公共交通の維持・充実に努めている点を評価する。

市民病院事業では、浸水対策工事や医療機器購入費などが計上され、県南地域の中核病院として医療提供体制の強化が図られている。

下水道事業では、管路や処理場などの建設改良事業が進められ、市民生活を支える重要な社会基盤の整備が着実に進められている。

一方で人口減少や高齢化の進展、社会保障費の増加など、当市の財政を取り巻く環境は今後も厳しさを増すことが見込まれるため、限られた財源の中で事業の選択と集中を図りつつ、効果的・効率的な運営に努め、持続可能な財政基盤の確立に向けた取り組みを進めることを要望する。

公明党

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算では、今後も厳しい財政状況が続く中、新体育館や新給食センターなどの整備が予定されていることから、財源確保に取り組み、経営感覚を持って行財政改革を強化するよう要望する。

特に、障がい者の働く場の確保や児童館へのエアコン設置の着実な実施のほか、食のまち・八戸開催事業などを通じた観光面にもつながる事業展開に期待する。防災関連では、災害備蓄品の見える化や情報伝達のさらなる向上を要望するとともに、^{*1}環福連携の考え方によるG I G Aスクールのパソコン処分を要望する。

自動車運送事業では、利用者が減少する中、燃料費の高騰や車両の更新など依然として厳しい環境にあるが、経営の健全化に努め、持続可能な運営を要望する。

市民病院事業では、災害対策の強化に向けた浸水対策工事費が計上されているほか、職員の働き方改革にも取り組んでおり、今後も安定した経営と質の高い医療提供を要望する。

下水道事業では、施設の老朽化などの課題を抱えているが、予防保全の強化に取り組み、安定したサービスの提供を要望する。

新緑・無所属の会

全議案に賛成

一般会計・各特別会計予算では、社会経済情勢や市民ニーズを的確に捉え、当市の重要課題を解決するため、未来共創推進戦略2026の戦略に基づく各種施策の着実な推進を要望する。また、青森県東方沖地震被害への対応については、より実効性のある支援施策を実施するとともに、その教訓を今後の防災・減災対策に生かすよう要望する。さらに、南部山健康運動公園へのアクセス道路拡幅、公立夜間中学の設置に向けた積極的な取り組み、本八戸駅へのエレベーター設置などについて、今後の施策展開や予算への反映を要望する。

自動車運送事業では、市民の利便性向上や経営改善に努めたことを評価し、今後は、地球温暖化防止に向けた取り組みの推進などを要望する。

市民病院事業では、職場環境の整備を図るため職員定数を見直すなど、医療の質の向上に取り組む姿勢を評価する。今後は、非常用電源の浸水対策の対応などを要望する。

下水道事業では、将来にわたる安定的なサービスの提供に向けた適切な事業運営を評価する。今後も普及率の向上と健全で安定的な経営の確保に努めることを要望する。

無所属（苦）

一部の議案に反対

令和8年度の予算編成では、公会堂の休館に伴う利用者対応や魚菜小売市場使用料の据え置きは評価するが、修学旅行引率教員の経費負担に

関する調査の開始や、加齢性難聴者への補聴器助成に向けた具体的な予算措置は不十分であるほか、借り上げ市営住宅などの契約および産業団地造成事業の再検討が必要であることから、一般会計予算および産業団地造成事業に反対する。

議案第51号による介護保険条例の見直しは、国が税金で予算措置をするべきであり、市民への負担を強いることになるため反対する。

議案第57号は市民病院の医療体制の充実を図るため職員定数を増やすものであるが、さらなる処遇改善と実効性のある運用を要望し賛成する。

市民生活・福祉の向上に向け、市民要望に応える予算執行を要望する。

無所属（前）

全議案に賛成

一般会計予算は、今後さらに原油高が進み、物価高騰に拍車がかかる可能性があることから、執行に当たっては、補正予算措置を含めた適切な対応を要望する。

特に未来共創推進戦略2026に掲げる戦略5「安全安心で人にやさしいまちづくりの推進」における、医療と介護を結ぶデジタルシステムの活用や事業者による介護ロボットなどの導入促進、在宅医療を受けることができる仕組みや終末期医療体制の整備など、誰一人取り残さない温かい社会づくりに向けた取り組みの推進を要望する。

各企業会計予算は、市民生活に密接に関わる分野であり、厳しい財政状況が見込まれるものの、市民が安心して暮らせる八戸であり続けられるよう、将来に向けた長期的かつ着実な取り組みを期待する。

*1 環福連携 … リサイクル（環境）と障がい者雇用（福祉）を組み合わせた活動。

議案審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決されたもの】

市長提出議案	予算	令和8年度予算*1 八戸市自動車運送事業会計/八戸市立市民病院事業会計/八戸市下水道事業会計/八戸市国民健康保険特別会計/地方卸売市場八戸市魚市場特別会計/八戸市都市計画土地区画整理事業特別会計/八戸市駐車場特別会計/八戸市中央卸売市場特別会計/八戸市霊園特別会計/八戸市介護保険特別会計/八戸市国民健康保険南郷診療所特別会計/八戸市後期高齢者医療特別会計/八戸市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計
	人事	八戸市副市長の選任/八戸市教育委員会教育長の任命/人権擁護委員の候補者の推薦
	条例	新規制定*1 八戸市自家用有償旅客運送自動車条例/八戸市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
		一部改正*1 八戸市非常勤消防団員等公務災害補償条例/八戸市議会の議決すべき事件を定める条例/八戸市附属機関設置条例/八戸市職員の給与に関する条例/八戸市基金の設置及び管理に関する条例/八戸市手数料条例/八戸市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例/八戸市屋内スケートリンク条例/八戸市火入れに関する条例/八戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例/八戸市看護師等修学資金貸与条例/八戸市営住宅条例/八戸市都市公園条例/八戸市職員定数条例/八戸市農業経営振興センター条例
	契約	新規契約*1 包括外部監査契約
その他	*1処分事件の報告及びその承認を求めること（議案第35号、36号）/市有土地の売払い（議案第37号、38号）損害賠償の額を定めること（議案第39号、40号）/公の施設を区域外に設置し、及びその施設を使用させること/八戸市辺地総合整備計画を定めること	
出議員提案	条例	一部改正*1 八戸市議会会議規則/八戸市議会委員会条例

*1 高橋正人議員は議案の採決を欠席。

【賛否が分かれたもの】

区分	議案	会派名	ク ラ ブ 民	ク さ ず な ク ラ ブ	自 由 民 主 ・ 無 所 属 の 会	公 明 党	新 緑 ・ 無 所 属 の 会	(無 所 属) (苦 米 地)	(無 所 属) (前 所 属)	議決結果
市長提出議案	令和8年度予算 八戸市一般会計/八戸市産業団地造成事業特別会計		○	○	○	○ ^{*2}	○	×	○	原案可決
	一部改正 八戸市介護保険条例		○	○	○	○ ^{*2}	○	×	○	原案可決

■藤川優里議長は採決には加わっていません。

■本定例会の個別の賛否状況については、市議会ホームページでご覧いただけます。

*2 高橋正人議員は議案の採決を欠席。他の議員は賛成。

会派別所属議員

自民クラブ	長谷川 ひろゆき 小屋敷 孝 立花 敬之	岡田 英 壬生 八十博 坂本 美洋	日當 正男 藤川 優里
きずなクラブ	吉田 光龍 石橋 充志 寺地 則行	田名部 裕美 山名 文世	三浦 博司 五戸 定博
自由民主・無所属クラブ	山之内 悠 上条 幸哉	間 盛仁 森園 秀一	久保 百恵 豊田 美好
公明党	土嶺 直樹	高橋 正人	中村 益則
新緑・無所属の会	伊藤 圓子	吉田 淳一	
無所属(苦)	苦米地 あつ子		
無所属(前)	前田 由美		

人事案件

○八戸市副市長に、次の方を選任することに同意しました。

いし だ しんいちろう
石田 慎一郎 氏

○八戸市教育委員会教育長に、次の方を任命することに同意しました。

さい どう しん や
齋藤 信哉 氏

○人権擁護委員の候補者に、次の方を推薦することに同意しました。

はし むかい くみ こ
橋向 久美子 氏
すず き み の る
鈴木 稔 氏

一般質問

一般質問とは、議員が市長などに対して、市政全般について事務の状況や課題、今後の方針などを質問したり、提言したりするものです。



今定例会では、3月2日から5日の4日間にわたり、18人の議員が一般質問を行いました。

各議員の主な質問と答弁を要約して掲載します。

◇スマートフォンやタブレット端末でQRコードを読み取ると、各議員の動画をご覧いただけます。



公約推進と2期目の意気込みは

自民クラブ代表
立花 敬之



問 公約の推進と2期目の意気込みについて市長の所見を伺いたい。

答 人口減少や長引く物価高騰など、不確実で見通しにくい状況が続く中、9つの政策・57の施策を公約として掲げ、引き続き市政のかじ取りを担う機会をいただいた。

公約を推進するためには、各分野の課題やニーズを的確に捉え、戦略的に進めていくことが重要であると考えることから、組織の再編などにより実行基盤を整え、実現可能な施策から速やかに取り組んでいく。

また、取り組みの推進に当たっては、多様な主体との協働により実効性の高まりが期待されることから、今後も「対話と共感」の姿勢を基本とし、市民や事業者などの声に耳を傾け、リーダーシップを発揮しながら新しい八戸を創造していく。

【その他の質問】

◆防災行政について など



長根屋内スケート場へ指定管理者制度導入を

きずなクラブ代表
田名部 裕美



問 長根屋内スケート場の施設運営費の費用対効果と指定管理者制度導入について伺いたい。

答 同スケート場の令和6年度

の施設運営費は、約4億2,300万円の事業費を要した一方で、合宿の増加や大会の開催などにより、利用者数が過去最多となっており、スピードスケート競技を中心としたスポーツの振興や、交流人口の拡大といった役割を十分に果たしていると考えている。

指定管理者制度については、将来的な導入を見据え、施設運営に係る課題の分析などを行っているところであり、引き続き、大会やイベントなどの誘致に取り組み、より多くの効果を創出していくとともに、同制度のメリットを最大限に活かせるよう、施設運営のノウハウを積み上げながら、移行時期を検討していく。

【その他の質問】

◆青森県東方沖地震について など



青森県東方沖地震に対する今後の課題は

自由民主・無所属クラブ代表
上条 幸哉



問 避難対応や災害対策を通じて顕在化した課題と、今後の対応について伺いたい。

答 主な課題としては、津波災害における徒歩避難の考え方および警報の種類によって避難対象区域や避難指示の範囲が異なることの周知不足、自主避難場所での運営ルールの整理、備蓄品の輸送体制の強化、外国人に対する情報発信の迅速化などが浮かび上がっている。

課題対応の一つとして、情報の集約・発信・強化のため、市LINE

公式アカウントに避難所開設情報などを集約した「災害モード」を自動で表示できるよう調整中である。

災害から市民の生命を守ることは、市の責務であるため、顕在化した課題を可能な限り早期に改善・解消し、災害に対する体制を万全にしていく。

【その他の質問】

◆観光行政について など



本八戸駅にエレベーターの設置を

公明党代表
中村 益則



問 同駅のエレベーター設置に向けた今後の取り組みを伺いたい。


答 当市では同駅のエレベーター設置の早期実現に向け、JR東日本盛岡支社に対して直接要望するとともに、青森県鉄道整備促進期成会においても同様の要望を行い、併せてJR東日本をはじめとする関係者との協議を継続的に行ってきた。

県との連携については、同期会会の要望書に、「本八戸駅へのエレベーター設置」の要望項目を追加していただいたほか、JR八戸線利用促進協議会へのオブザーバーとしての参画や、同協議会の事業費に対する補助など、各種支援をいただいている。


市としては今後、エレベーター設置に向け、引き続き県と連携しながら、JR東日本との具体的な協議を進め、各種取り組みを推進していく。

【その他の質問】

◆福祉行政について など



水田の中干し期間延長による米作りを
新緑・無所属の会代表
伊藤 圓子




問 温室効果ガス排出抑制のため、中干し期間の延長による米作りに取り組むことについて、所見を伺いたい。

答 国では、中干しの期間を延長し、メタン発生をさらに減少させる取り組みを、J-クレジット制度のクレジットの一つとして認証しており、実施する水田が増加した一方で、土壌の性質によっては、有効性が低い場所もあり、水田の場所の特性を十分に調査する必要がある。


農業者にとっては、環境に配慮した米という付加価値とクレジット販売による収入も得られるものであることから、市としては、全国の事例を調査するとともに、農業者の意向も確認しながら、実施に適した地区などの選定に向け研究していく。

【その他の質問】

◆若者等によるまちづくり推進について など



町内会への今後の取り組みは
自由民主・無所属クラブ
問 盛 仁



問 町内会解散の回避や合併・統合に向けた支援策など、市の今後の取り組みについて伺いたい。

答 市では、町内会の存続に向けた助言や提案を行っており、最近では、連合町内会が主体となって、町内会の運営方法の見直しなどに取り組んだ地区の事例も見られる。


また、先進事例を参考にNPO法人との連携やプロボノ^{*3}の活用により事務を外部委託することも、町内会

の解散回避に有効であると考えている。


活動内容の見直しやデジタル技術の活用など、時流に沿った町内会運営を図る必要があるため、今後も連合町内会と連携し、持続可能な町内会づくりに向けた支援を行っていく。

【その他の質問】

◆食のまち・八戸の推進について など



ノー早出・残デー（仮称）の後は
きずなクラブ
三浦 博司



問 今後どのように教職員の働き方改革を進めるのか伺いたい。


答 市教育委員会では、令和11年度までに、教職員の時間外在校等時間の1カ月平均を、30時間程度に縮減することを目標にしている。

ノー早出・残デー^{*4}の試行から5カ月が経過し、繁忙期に当たる昨年11月の時間外在校等時間は、1学期と比較して、小学校では12時間半、中学校では17時間半ほど縮減された。


時間外在校等時間の平均を30時間程度とすることは、何としてでも達成したい目標であることから、市教育委員会では、学校主体の取り組みを支える伴走型支援を基本とし、今後も必要な情報提供や相談対応を行っていく。

【その他の質問】

◆ふるさと納税について など



騎馬打毬で使用する馬の確保に向けた支援を
自民クラブ
長谷川 ひろゆき




問 騎馬打毬で使われる馬の確保に関する市の課題意識と支援について伺いたい。

答 騎馬打毬で使用するドサンゴ^{*5}は、令和6年度にはピーク時の3分の1の約1千頭にまで減少しており、調達が難しい状況の中で、八戸騎馬打毬会では令和5年以降は競技に使用する馬を4頭対4頭から3頭対3頭に変更して試合を行っている。


騎馬打毬の存続のためには、保存団体において適切な時期に馬を確保することはもちろん、馬牧場においては飼育環境を維持するための人材確保が必要不可欠であると認識していることから、市教育委員会としては、関係部局と連携しながら、問題解決の方法を探っていく。

【その他の質問】

◆交通安全行政について など



（株）八戸魚市場の経営改善に向けた支援は
自由民主・無所属クラブ
森園 秀一



問 同社の経営改善に向けた見通しの把握と支援について伺いたい。

答 当市では、魚市場機能存続のため、令和7年度より販売委託手数料率の引き上げを行い、これにより、同社では増収が見込まれている。さらに、当市としては、同社に対し、3年間の集中的な財政支援に加え、大中型まき網漁船の誘致活動や人材育成への取り組みに対する支援を行うこととしている。


また、同社との話し合いを通して市場の効率的運用についての協議や経営状況を把握するとともに、八戸水産アカデミーに設置した「魚市場の今後のあり方専門部会」からの提言を踏まえながら、早期の経営改善に向け、積極的に関与していく。

【その他の質問】


◆まちづくりについて など

*1 中干し … 水稲の栽培中期に水田の水を一時的に落として、土壌を乾かす管理作業のこと。土壌内のメタン生成菌の活動を抑制し、水田からのメタン発生を減少させる効果がある。
*2 J-クレジット制度 … 温室効果ガスの排出削減量や吸収量を国がクレジットとして認証する制度。認証されたクレジットは、温室効果ガス排出事業者に販売できる。
*3 プロボノ … 職業上のスキルや経験を生かして取り組む社会貢献活動。
*4 ノー早出・残デー … 教職員の時間外在校等時間を縮減するため、出勤を午前7時以降、退勤を午後5時30分までにする取り組み。市教育委員会では、毎週水曜日に設定し、令和7年9月から試行している。

ケアプランデータ連携システムの普及状況は



無所属
前田 由美



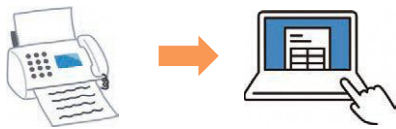
問 介護事業所における当システムの普及状況について伺いたい。

答 国は、令和5年度より、介護現場の負担軽減などの一環として、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所間で、毎月ファクスなどで送受信されているサービス提供票などを、オンラインでデータ連携可能とする当システムを運用しており、介護事業所が導入することにより、介護報酬の請求業務に係る労力や時間、費用の大幅な削減が期待される。


市内介護事業所における普及状況については、令和5年度末および6年度末の導入率は共に5.0%、7年度は本年2月末時点で、353事業所のうち88事業所が導入しており、導入率は24.9%となっている。

【その他の質問】


◆防災対策について など



下水道整備の進捗状況と完了後の見通しは



きずなクラブ
石橋 充志



問 下水道整備事業の進捗状況と公道への下水道整備が完了した後の事業量の見通しを伺いたい。

答 当事業の令和6年度末の整備率は80.5%となっており、今後、7年度と同規模の予算で整備を進めた場合、12年度末には公道への整備がおおむね完了すると見込んでいる。

その後は、私道への下水道整備と下水道管きよの改築や修繕が主な事


業となるが、私道への整備については、関係者からの申請によるため、事業量は小規模になると考えている。

下水道管きよの改築や修繕は、点検や調査を実施した上で行うことから、事業量の推計は困難だが、公共下水道の適正な維持管理のため、今後必要な事業量を確保していく。


【その他の質問】

◆政治姿勢について など

局地激甚災害指定の見込みは



自由民主・無所属クラブ
山之内 悠



問 青森県東方沖地震による被害規模を踏まえ、局地激甚災害^{*6}の指定の見込みについて伺いたい。


答 局地激甚災害は、「局地激甚災害指定基準」に達した場合に指定されることとなるが、本市における公共土木施設などの被害は、指定の基準額に達しておらず、市内の農地や中小企業者などの被害については、判断に必要な所得推定額が公表されていないことから、現時点での指定見込みは不明である。

市としては、できるだけ早期に被害額の把握に努め、県を通じて関係省庁に対し、被害額の報告を行い、国による被害額算定の結果、基準を満たした場合は、局地激甚災害の指定をお願いしたいと考えている。


【その他の質問】

◆廃校施設について など

番町ヒルズの借り上げ料の是正を



きずなクラブ
寺地 則行



問 包括外部監査からの指摘を受け、番町ヒルズの借り上げ料の是

正に向けた市長の対応について伺いたい。

答 指摘内容については、貸主である㈱まちづくり八戸と共有し、これまで数回にわたり借り上げ金額の妥当性について協議を行ってきた。


また、市として、改めて不動産鑑定評価を行い、その結果、現行の借り上げ料との乖離が見られたことから再度協議を申し入れたが、減額の合意には至らなかった。

現在、私から直接、代表取締役社長に再検討を要請したところであり、双方の合意が必要であるため時間を要しているが、今後も見直しに向けた再検討を粘り強く要請していく。


【その他の質問】

◆観光行政について など

体験型・滞在型観光メニューの開発を



公明党
土嶺 直樹



問 地域資源を活かした体験型・滞在型観光^{*7*}^{*8}について市の考えを伺いたい。

答 体験型・滞在型観光は、体験の質と満足度の向上が図られ、観光消費額の向上などにつながる重要な取り組みであると認識しており、定着させるためには、地域資源を魅力ある商品へと磨き上げ、収益性を意識して企画・運営するプロデューサーなどを育成・確保することが、観光の質の向上につながり、地域経済活性化の基盤になると捉えている。

市としては、地域資源を活かした体験コンテンツを磨き上げるとともに、担い手育成やネットワーク形成に取り組み、持続可能で高付加価値な観光地域づくりを推進していく。

【その他の質問】

◆教育行政について

*5 ドサンコ … 北海道在来馬。北海道和種と呼ばれる。

*6 局地激甚災害 … 地方財政の負担を緩和し、被災者に対する特別の助成を行うことが必要と認められる災害が発生した場合に、激甚災害として指定し、当該災害に対する国庫補助の特別措置などを指定する激甚災害制度のうち、特定の市町村で被害が大きい場合に、国が市町村単位で指定するもの。

*7 体験型観光 … その土地が持つ自然や独自の風土・風習を、文化体験レジャーなどを通して楽しむ旅行形態。

*8 滞在型観光 … 1カ所に滞在し静養や体験型をはじめとしたレジャーを楽しむこと。またはそこを拠点に周辺の観光を楽しむレジャー形態。



夜間中学設置に向けた取り組みの状況は

新緑・無所属の会
吉田 淳一



問 教育長会議などにおける当市の夜間中学設置に向けた意思表示の現状について伺いたい。

答 昨年10月に開催された青森県都市教育長協議会において、当市の夜間中学設置について話題提供を行ったところ、令和9年度に県内初の公立夜間中学が青森市に設置されることから、その状況を見ながら、公立夜間中学の在り方を検討していくのが良いとの助言があった。

当市にも夜間中学について一定のニーズがあると考えていることから、市教育委員会としては、開校に向けて準備を進めている青森市の進捗状況や運営方法の在り方、予算措置などの情報をきめ細やかに収集しながら、引き続き検討していく。

【その他の質問】

◆クマ対策について



5歳児健診の実施に向けた進捗状況は

きずなクラブ
吉田 洸龍



問 現在の検討状況や実施方法の方向性などについて伺いたい。

答 当市では実施方法として、全ての5歳児の保護者にアンケート

調査を実施し、発達に課題があると思われる幼児を対象に医師が診察する「二段階方式」を採用する方向で準備を進めており、令和8年度は、100人程度の5歳児を対象にモデル事業を実施し、翌9年度は、対象を5歳児全体の半数となる600人程度まで規模を拡大したいと考えている。

一人一人の特性に合わせた切れ目のない適切な支援が求められることから、引き続き、市医師会などの協力を得ながら、モデル事業の実施と検証を着実に進め、10年度の本格実施に向けた体制整備に努めていく。

【その他の質問】

◆スポーツ行政について



戦争遺構の保存継承を

無所属
吉米地 あつ子



問 行政主導による戦争遺構の保存と継承について伺いたい。

答 トーチカなどの構造物の多くは民有地にあるほか、戦時中に蕪島に掘られた坑道は、安全のために埋め戻された経緯があるなど、戦争遺構そのものを市が整備し保存継承していくことは難しいと考えている。

一方、市では、これまでに戦争体験記録集などの書籍を刊行しているほか、南郷歴史民俗資料館では戦時中の生活に関する資料やトーチカの模型の常設展示、博物館では戦争を

テーマにした特別展を開催してきた。

市教育委員会では、これらの戦争体験記録集や重要な資料を活用し、さまざまな機会を捉えて戦争記憶の継承に努めていく。

【その他の質問】

◆青森県東方沖地震について など



みちのく記念病院の改善に向けた取り組みは

自民クラブ
日當 正男



問 当病院の行政措置後の改善に向けた取り組みについて伺いたい。

答 医師の勤務管理の適正化としては、事務職員が打刻していたタイムカードを医師が自ら打刻し、複数の担当者が確認する体制に改めた。

市および県に事実と認められない報告をしてきた原因の調査と再発防止策としては、職員の意識改善・向上を図るべく、コンプライアンス研修を実施したほか、再発防止策の実施主体として、外部弁護士などを含むコンプライアンス委員会を設置した。今後は当委員会を中心に、職員研修の継続的な実施のほか、再発防止と適正な組織運営などに向けた具体の取り組みを早急に進めていく。

【その他の質問】

◆「ハマる、ハチノハ。」観光振興プランについて

*9 戦争遺構 … 戦争のために造られた施設や戦争で被害を受けた建物などのこと。
*10 トーチカ … コンクリートなどで作られた小型の防衛陣地のこと。

◆八戸市議会公式 Facebook◆

多くの方に議会への関心を高めていただくため、八戸市議会公式Facebookで定例会の日程や一般質問者などの情報を発信しています。

ぜひフォローして、市議会をもっと身近に感じてみませんか？

